



当局はBダイヤも 早急に提示せよ



動労千葉

1988.10.31 No. 2916

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二二七二〇七

運転保安無視は重大事故を招く

当局は誠意ある団交を10/28団交

動労千葉は、十月二八日、「京葉線暫定開業に伴う十二月ダイヤ改」及び、「六三・三ダイヤ改」の強行実施によって極限的な労働条件改善を要求する「申四号」にもとづいて団体交渉を行った。

目前にせまった「十二月一日ダイヤ改」、しかし当局は、今回の団交でも前回同様「土曜ダイヤの新設、武蔵野線の京葉線乗り入れ」などを理由に、「Bダイヤは作成中」として、「Bダイヤ」（運転士の作業）を提示しないままにしている。「十二月ダイヤ改」は部分的ダイヤ改にもかかわらず、一ヶ月前になっても「作成中」などということは当局の「ダイヤ改に対する姿勢」そのものを疑がわなくてはならない。当局は、「労使対等」にもとづき、まともな団交を行え！

構内運転の安全確保を優先せよ！

しかも、今回の「ダイヤ改」に伴う車両

係の構内運転兼掌化は重大問題である。

構内運転は、本線運転とは違い、入換作業などで高度な運転技術が必要とされるのは当然である。また、入換作業は車両技術係とのチーム作業であり、一歩まちがえば人命にも関わるものである。その構内運転を運転士の資格も経験もない者に行わせようということ事態、暴挙といわずしてなんであるろう。当局は「教育も行うし、運転士の免許もある。若い人の方が仕事になれるのが早い」などとしているが、運転士の経験のない者に運転させることほど危険なものはない。われわれは、この攻撃を一步も許すことはできない。白紙撤回を要求し、ストライキも辞さずたたかうものである。

「睡眠時間・食事時間」はもっときつてもかかろう

「申四号」は、「六三・三ダイヤ改」によって改悪された「睡眠時間」「食事時間」の確保という安全運行を保障するための最低限の要求を柱とした職場の労働

上越線事故に つながらず 運転保安無視・合理化強行

こうした当局の姿勢こそ「十月十九日上越線における貨物列車衝突、脱線、転覆事故を引き起こしたのであり、安全を無視した指令の対応は、千葉支社もこの間行ってきたことを見れば全く同罪である。われわれは、千葉支社の「事実上の団交無視」に怒りをおさえることはできない。全支部、全職場でスト体制を早急に確立し、十二月合理化絶対反対の闘いを貫徹しよう！

ストライキ準備指令

11月5日以降、全支部は全組合員を対象としたスト準備体制を確立する

動労千葉は、第十五回定期大会でのスト権一〇〇%の確立にふまえ、十月十八日、労働省・中央労働委員会にストライキ通告を行った。したがって十月二十九日より、動労千葉の全職場でストライキ実施可能となった。

JR当局の団交無視、運転保安無視、合理化強行に対しては、ストライキを当然にも打ちぬく決意である。全職場でいつでもストライキに突入できる準備体制を確立しよう！

1/3 団結祭典
弁天小学校; 9じ30分始
家族そろって集ろう!

